

明日香村所蔵の明治期の地籍図の調査

はじめに 明治期に作成された地籍図は土地利用や景観の変遷を知る上での資料として活用されている。奈良県でも、『大和国条里復原図』（檀原考古学研究所、2007）の作成をはじめ、地割の復元研究などに明治期の地籍図が使用されてきた。

一方で、明日香村が所蔵する地籍図のまとまった調査としては、奈文研が1988年頃にマイクロフィルムで撮影したもの、詳細な報告はない。そこで、2017年度、明日香村の集落の景観や土地利用の変遷などを探るための参考資料として、明日香村が所蔵する地籍図について調査をおこなった。

明日香村所蔵の地籍図 今回の調査では、57点の地籍図を確認できた（表4）。地籍図は1988年頃の撮影の後、保存・閲覧の便を考慮して軸装されたようだ。明治期の地籍図は、先学により、4度の調査（壬申地券公布、地租改正、地押調査、地籍編纂）にともなって調製されたことが指摘されている。こうした動きと比較しながら、明日香村の地籍図を検討したい。

今回調査した地籍図は大きく4つのグループに分けられる。もっとも古い一群は、明治12～13年（1879～1880）の記載をもつ。作成年代の記載がないものも、「地租改正地引絵図」などの記載や、大区小区制による呼称が記入されたものは、戸長名が共通し、同時期の作成とみられる。土平博氏の研究によれば、奈良県の地租改正にともなう改組作業は明治7～9年におこなわれ、明治11～14年に地租改正地引絵図が作成されたと考えられる。明日香村でも明治12～13年に、地租改正にともなって、これらの地図が作成されたものとみられよう。

次に、明治18～19年に製作された地図が7点ある。「訂正」と書かれたものも多い。これらの地図は、明治18年2月に出された「地押調査」の訓令を受けた修正作業によって作成されたと思われる。また、作成年・大区小区制による呼称とも記されていない地図もあった。描画方法は地租改正地引絵図や地押調査による地図と共通する。地租改正地引絵図と後述する明治22年作成の実測全図が残る村での確認例もあることと、戸長の名前などから、これらも地押調査で作成された可能性が高い。



図41 「高市郡川原村実測全図」（部分・一部加筆）

さらに、明治22～23年に作成された地図が20点確認できた。すべて「奈良県地籍検査済証」の朱印が押されている。ほぼ同一の書式に則って製図されており、縮尺は二千分の一、凡例を囲野の中に色別と記号で示す。測量着手・終了と製図着手・終了の日付と、測量器械の種類も明示されている。これらの地図は、明治22年3月に制定された土地台帳規則による土地台帳附属地図として作成されたものと思われる。

このほか、昭和に複写された地図が2点あった。紛失や毀損した原図を補うため複写されたと思われる。

地籍図に残された遺跡 明日香村ならではの視点として、飛鳥時代の遺跡の中古の姿を地籍図から探ってみることも可能である。その一例として、小山田遺跡を取りあげる。小山田遺跡は2014年度の奈良県立檀原考古学研究所の発掘調査で貼石や敷石が残る掘り割りがみつき、2016年には横穴式石室の痕跡と墳丘盛土が確認された。一辺が約70mの方墳に復元できる。この場所を「高市郡川原村実測全図」（No.46）でみると、甘檜丘からのびた尾根筋の先端部が、方形の畑地になっている（図41）。周囲が田になっているのに対し、この部分が畑なのは、古墳の名残の高台になっていたことを示している。この方形の高まりは、明治43年発行の国土地理院の二万分の一地形図や、昭和30年測量の奈文研の千分の一地形図、末永雅雄氏が撮影した昭和33年の航空写真でも見られるが、地籍図によって、明治22年には同様の地形になっていたことが確認できた。この地の小字は「石井」で、畑の旧所有者によれば、耕作中に石のかけらがしばしば出土したと言う。古墳にともなう石が残っていた可能性もある。

おわりに 明日香村所蔵の地籍図は、旧地割や景観の研究のみならず、飛鳥時代の遺跡の変遷の資料としても、今後の活用が見込まれる。地元からの聞き取りによれば、これらの地籍図は、作成後に役所と地元で保管することも多く、今も大字で活用されるものもあるという。今回の調査では、まだ地籍図を確認できていない旧村もあり、今後、調査を深化させるとともに、地図の記載内容を踏

表4 明日香村所蔵地籍図一覧（左端は、明治22年（1889）～昭和31年（1956）まで使用された旧村名）

番号	資料名	資料名副題	作成年月日（和暦）	縦（mm）	横（mm）
阪合村	1 大和高市郡御園村地図	明治十九年十二月製	明治19.12製 明治19.12.24訂正	492	756
	2 大和高市郡御園村地引絵図	なし	明治19.12.24訂正	518	820
	3 高市郡御園村実測全図	なし	明治23.2.1	463	733
	4 無題（檜前）	大和国四大区三小区	記載なし	725	1032
	5 大和高市郡檜前村全図	明治十九年秋製	明治19秋 明治19.12.24訂正	778	1250
	6 高市郡檜前村実測全図	なし	明治23.2.1	628	683
	7 高市郡阿部山村実測全図	なし	明治23.2.10	944	923
	8 高市郡大根田村実測全図	なし	明治22.10.7	404	1053
	9 高市郡栗原村実測全図	なし	明治23.2.10	893	720
	10 高市郡越村実測全図	なし	明治22.12.24	593	814
	11 高市郡真弓村実測全図	なし	明治23.2.1	905	945
	12 地引図（真弓・地ノ窪）	大和高市郡真弓村	明治18.12訂正	1093	1343
高市村	13 高市村大字岡地引全図	なし	昭和28.7複写	1652	865
	14 高市村島莊図	大和国四大区三小区	明治12.1	743	781
	15 高市郡島莊村実測全図	なし	明治22.8.10	499	752
	16 無題（上居）	大和国第四大区三小区	明治12.1	960	1133
	17 無題（上居）	大和高市郡上居村	記載なし	797	1028
	18 無題（上居）	大和高市郡上居村	記載なし	784	1010
	19 無題（細川）	大和国高市郡細川村	記載なし	980	1113
	20 無題（細川）	大和国高市郡細川村	記載なし	1047	1167
	21 高市郡細川村実測全図	なし	明治22.9.8	989	1439
	22 無題（上）	高市郡上村	記載なし	799	1142
	23 無題（尾曾）	大和国第四大区三小区	明治12.1	877	977
	24 高市郡尾曾村実測全図	なし	明治22.9.18	750	1047
	25 大和国第四大区三小区 高市郡冬野村	大和国四大区三小区	記載なし	654	1146
	26 無題（冬野）	大和高市郡冬野村	記載なし	736	1055
	27 高市郡冬野村実測全図	なし	明治22.12.7	1192	829
	28 無題（畑）	高市郡畑村	記載なし	912	1427
	29 無題（畑）	大和国第四大区三小区	記載なし	932	1466
	30 大和高市郡入谷村	なし	記載なし	1138	1253
	31 無題（入谷）	大和高市郡入谷村	記載なし	1268	1124
	32 無題（入谷）	大和国第四大区三小区 高市郡入谷村	記載なし	728	1082
	33 高市郡入谷村実測全図	なし	明治22.9.18	1000	1403
	34 大和高市郡稲渚村全図	大和国第四大区三小区	明治13.2上浣製図	1134	1030
	35 無題（飯田）	大和国四大区三小区 高市郡飯田村	記載なし	542	852
	36 大和高市郡飯田村全図	なし	記載なし	931	1545
	37 大和国第四大区三小区 高市郡橘村	大和国第四大区三小区	記載なし	874	1295
	38 地租改正地引絵図（立部）	大和国第四大区三小区 高市郡立部村	明治12.2	753	531
	39 地租改正地引絵図（立部）	大和国第四大区三小区 高市郡立部村	明治12.2	749	516
	40 地引図（立部）	大和高市郡立部村	明治19.11訂正	619	895
	41 地引図（立部）	大和高市郡立部村	明治19.11訂正	620	898
	42 高市郡立部村実測全図	なし	明治22.12.7	500	754
	43 地租改正地引絵図（野口）	大和国第四大区三小区 高市郡野口村	明治12.1	962	1043
	44 無題（野口）	なし	記載なし	915	1130
	45 高市郡野口村実測全図	なし	明治22.8.29	533	563
	46 高市郡川原村実測全図	なし	明治22.8.9	738	1052
飛鳥村	47 高市郡飛鳥村実測全図	なし	明治22.8.9	512	747
	48 高市郡雷村地図	なし	記載なし	530	760
	49 明治八年改正地引絵図面	大和国第四大区二小区 高市郡雷村	明治12.12	514	718
	50 高市郡雷村実測全図	なし	明治22.8.9	520	750
	51 飛鳥村大字小山全図	なし	昭和7.5調製	534	670
	52 高市郡奥山村実測全図	なし	明治22.7.26	732	508
	53 大阪府大和国高市郡八釣村地引図	なし	明治19.11訂正	471	623
	54 高市郡八釣村実測全図	なし	明治22.8.9	521	759
	55 地租改正地引全図	堺県下大和国四大区三小区 高市郡東山村	明治13.4 明治20.11謄写	1131	774
	56 高市郡東山村実測全図	なし	明治22.8.9	539	1160
	57 高市郡小原村実測図	なし	明治22.8.9	498	717

まえて、明日香村の集落の変遷に迫っていきたい。

なお、本稿はJSPS科研費JP17K01221の成果の一部である。

（西田紀子）

謝辞

本調査には、明日香村役場の福井正浩氏、西田陽一氏、明日香村教育委員会の相原嘉之氏、大字川原の中西正博氏の協力

を得た。記して感謝申し上げる。

参考文献

佐藤甚次郎『明治期作成の地籍図』古今書院、1986。
土平博「税務大学校租税史料室所蔵『大和国地租改正地引絵図』の作成と移管の経緯」『奈良大学総合研究所所報』17、2009。
飛鳥資料館『あすかの原風景』2018。